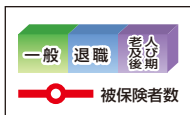
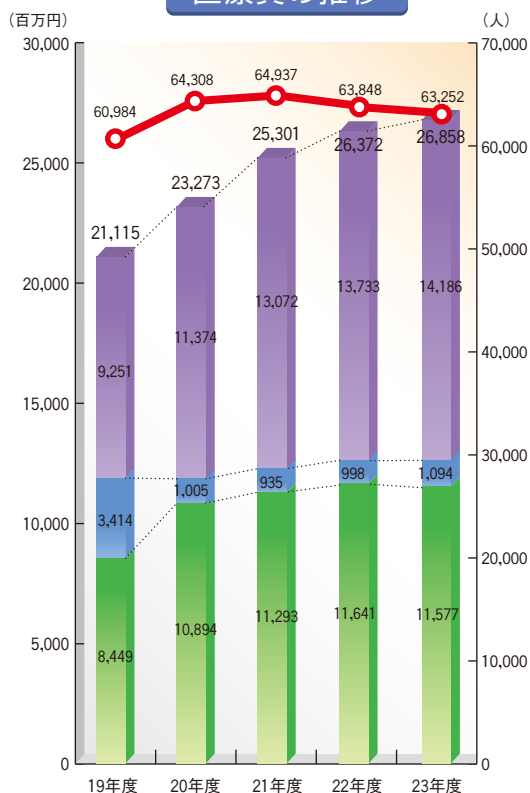


栃 木 市

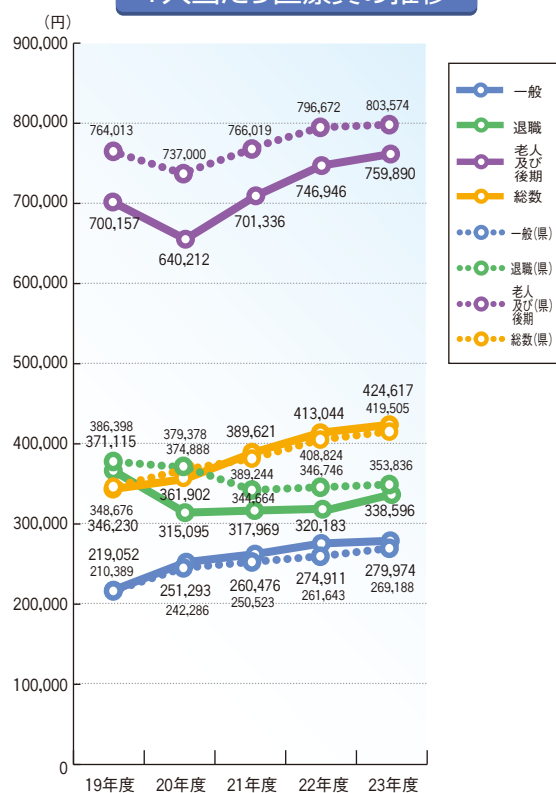
栃木市



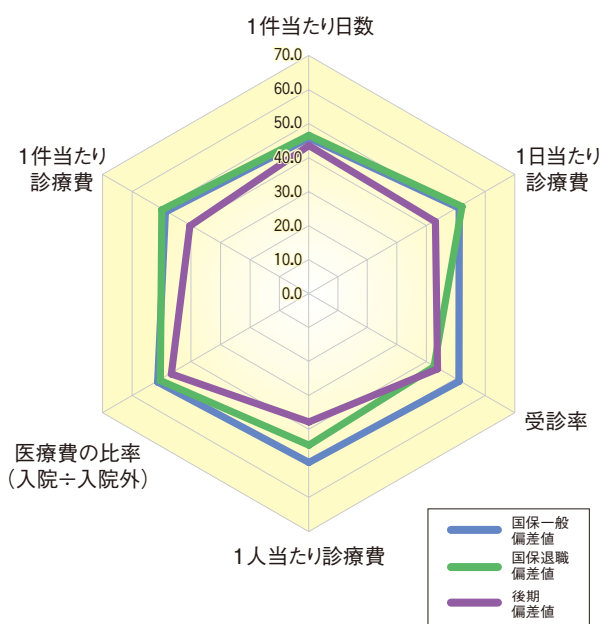
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

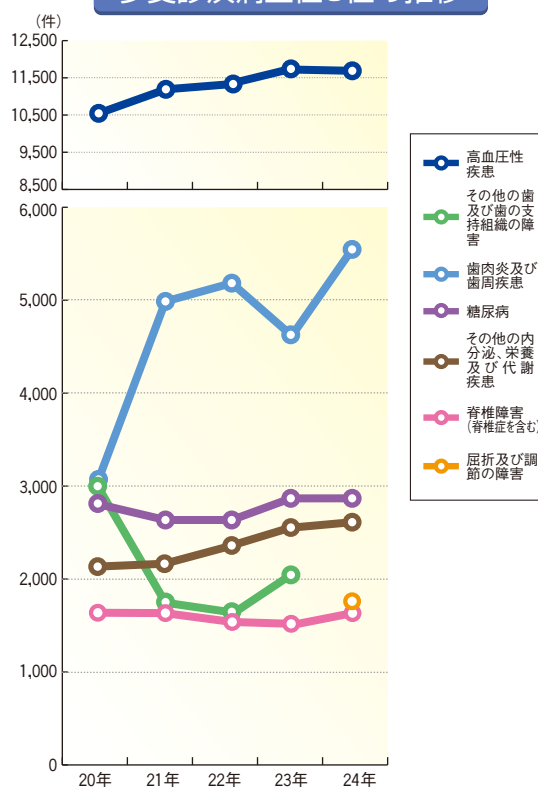


平成23年度
3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

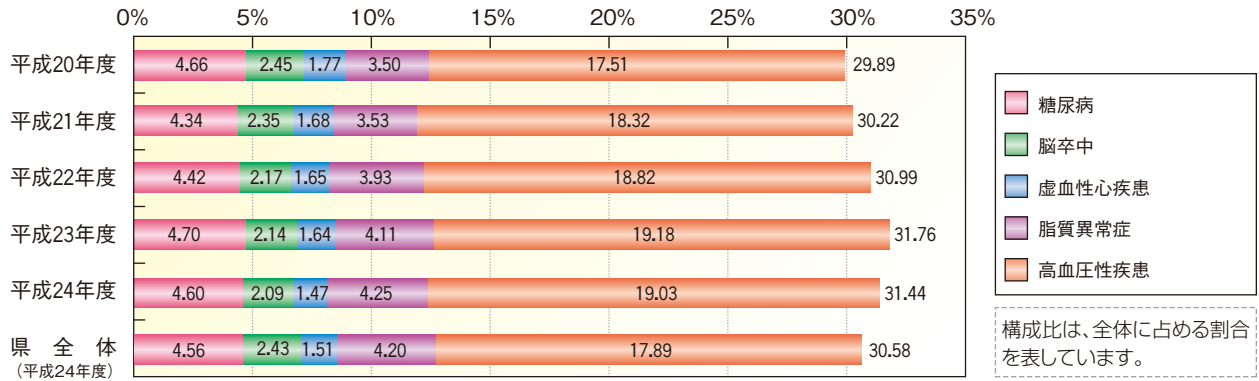


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県 (平均) が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

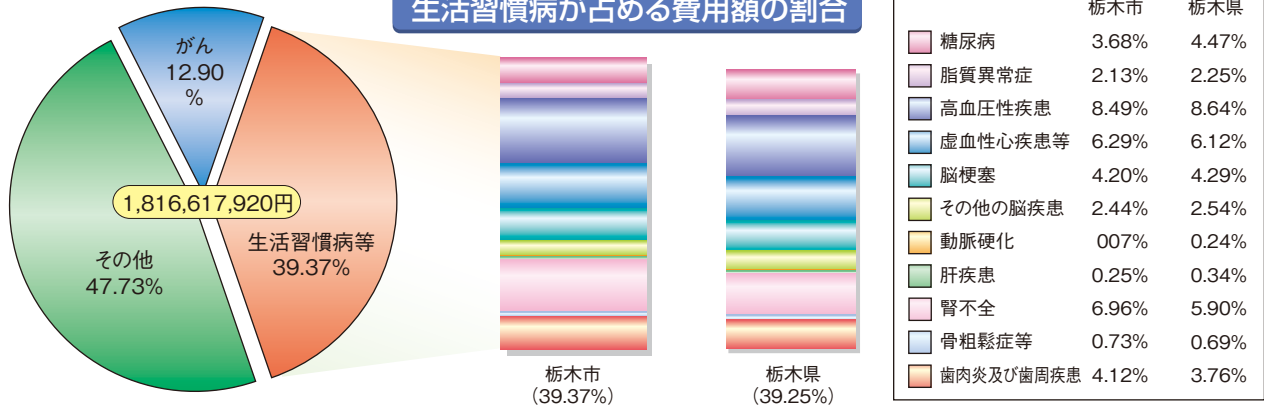
多受診疾病上位6位の推移



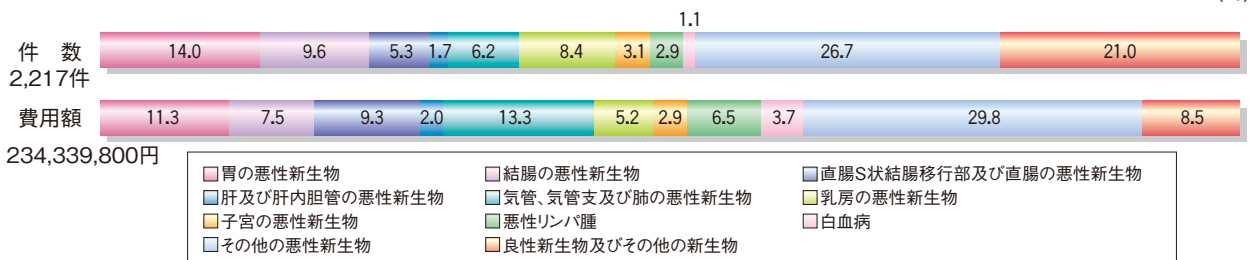
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



栃木市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成23年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般11,577,473千円(99.5%)、退職1,094,003千円(109.6%)、後期14,186,386千円(103.3%)で、全体では26,857,862千円(101.8%)と増加している。()は前年度との比較。

平成23年度平均被保険者数は63,252人で、内訳は一般41,352人、退職3,231人、後期18,669人である。前年度と比較すると全体で99.1%と減少している。

また、平成23年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は424,617円(11,573円増)、一般は279,974円(5,063円増)、退職は338,596円(18,413円増)、後期は759,890円(12,944円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、全てにおいて、県とほぼ同じ偏差値、若しくは下回っている。

★疾病の状況

平成24年5月診療分において件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位屈折及び調節の障害、6位脊椎障害(脊椎症を含む)で、中でも5位の屈折及び調節の障害が増加傾向にあり、平成20年と比べ件数で1.2倍になっている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、脂質異常症と高血圧性疾患は年々増加傾向にあり、平成20年と比べ脂質異常症は1.2倍、高血圧性疾患は1.1倍に増加している。

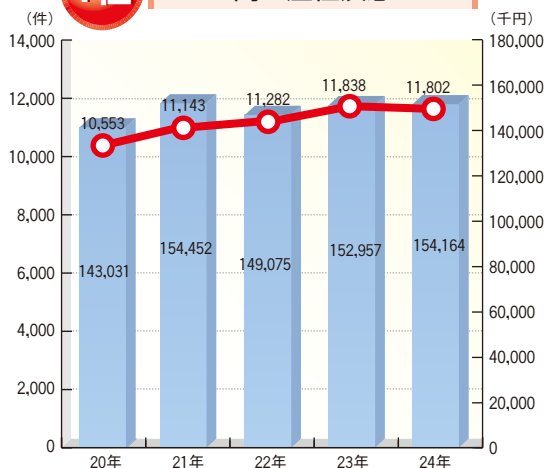
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成24年5月診療分の総費用額が1,816,617,920円で、がんが12.90%、生活習慣病関連が39.37%を占めている(県全体 がん11.84%、生活習慣病関連39.25%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患8.49%、腎不全6.96%、虚血性心疾患等6.29%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合では、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、気管、気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

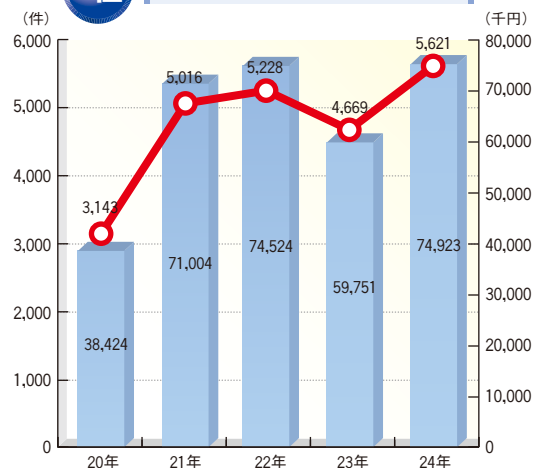
1位

高血圧性疾患



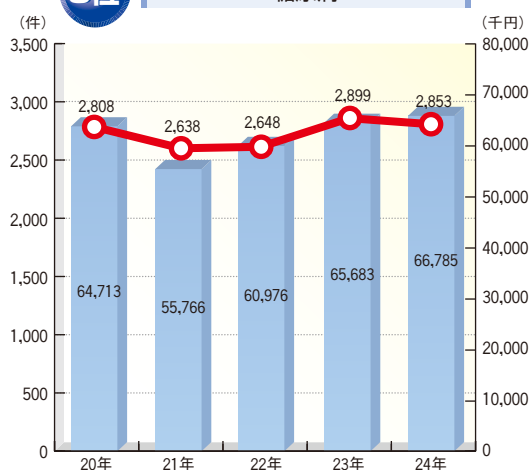
2位

歯肉炎及び歯周疾患



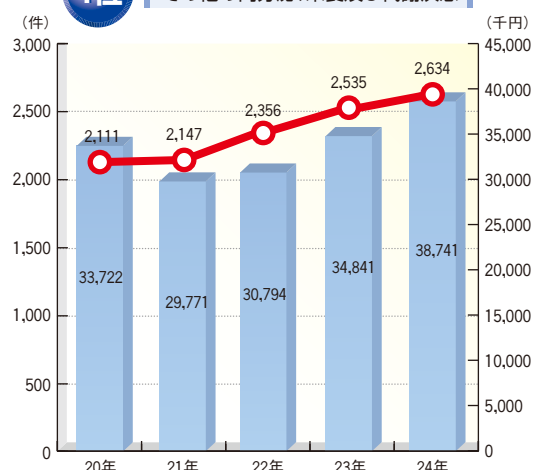
3位

糖尿病



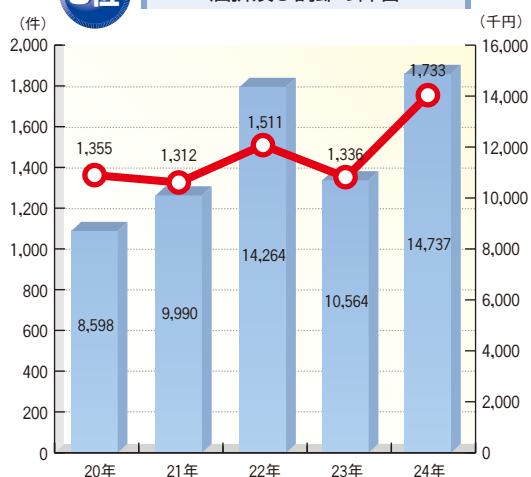
4位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位

屈折及び調節の障害



6位

脊椎障害(脊椎症を含む)

